



令和2年度 高千穂町立押方小学校 学校だより

7月号

おしかた



TEL 0982-72-2239 / FAX 0982-72-2477 / URL <https://cms.miyazaki-c.ed.jp/1802/>

奉仕作業 ありがとうございました。

6月14日(日)に、本年度第1回目の奉仕作業をしていただきました。梅雨の雨が降る中での作業は大変だったと思います。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防や感染拡大防止対策のために、可能な限り「3つの密」を避けながら作業をしていただきました。お陰をもちまして、学校が大変きれいになりました。地域の皆様や保護者の皆様におかれましては、ご多用の中、誠にありがとうございました。



「ぞうきん」を寄贈していただきました。

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

今年も押方地区の老人会の皆様から「ぞうきん」を寄贈していただきました。

6月24日(水)、上押方寿会、下押方神都会、山附緑寿会、跡取川清流会から代表の方5名が来校され、子どもたちに直接手渡しで寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



1年生が「芋の苗植え」をしました。

6月19日(金)、1年生が生活科の学習として「芋の苗植え」をしました。かつて学校の西側にあった教職員住宅の跡地を畑として活用しています。今年は8畝に昨年度の倍近くの140本の苗を植えました。植え付けの翌日から雨天が続いたので順調に育っています。収穫の秋には芋がたくさん実って、1年生が喜ぶ姿を今から想像しているところです。

このほか、5年生も例年どおり「米作り」学習をしています。5月22日(金)に「稲の種まき」、6月23日(火)に「田植え」をしました。保護者の皆様や地域の皆様のご指導やご協力に心から感謝申し上げます。



町営プールで「水泳学習」をしています。

新型コロナウイルス感染症のため本年度の「水泳」授業を延期や中止にしている学校が多くなっていますが、本校は6月9日（火）から町営プールで「水泳」授業を行っています。スポーツ庁から示されている「毎朝の検温と学習前の健康状態の把握を徹底する」「見学する児童はマスク着用で、1～2m以上の間隔を確保する」「プール内での密集を避ける」「プールに一斉に大人数入らない」「プール内だけでなく、プールサイドでも間隔は2m以上保つ」「手をつないだり、体を支えるなど、密集する活動は避ける」「用具の使い回しを避け、使用後は消毒する」などの感染防止対策に留意しながら、子どもたちが楽しく学習する中で泳力が付いていくように工夫して指導しています。

「わらぞうり」作りに挑戦しました。

6月18日（木）と7月2日（木）に、3年生以上で「わらぞうり」作りを体験しました。山附地区の佐藤守氏、佐藤正美氏、甲斐愛光氏に教えていただきました。足の指に縄紐をかけてわらぞうりを編む作業は子どもたちには難しいので、「ノメシ」という編み台を用意して、わらではなく、ビニルひもを使って活動しました。初めての体験でしたが楽しく活動できました。指導していただいた地域の皆様には、ご多用の中ご教授いただきまして誠にありがとうございました。

5年生が米作り体験活動をしていますので、新型コロナウイルス感染症が収束した時期をとらえて、例えば「ふれあい交流会」などの機会において、より多くの皆様と一緒に収穫後の“もちわら”を使って再度活動できるとよいと考えているところです。



全体の様子



実演の様子



製作の様子

押方小学校の歴史 授業の終始を知らせていた鋳物の「鐘」

本校に、授業の終始を知らせる用途で使っていた鋳物の「鐘」が残っています。時刻になると木槌で打ち鳴らされていました。昭和40年代半ば頃まで使用されていたようです。

「鐘」の表面に「寄贈 昭和七年十月 東京市 押方茂平」と刻印があります。本校に縁のある方と推察されます。ちなみに「東京市」は明治22年から昭和18まで現在の東京都内にあった市とのこと。

